

社会科学習指導案

単元名「戦国の世から天下統一へ」

令和6年10月 第6学年 指導者 倉田 有希

I 単元の構想

1 単元観

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年告示）解説社会編における（2）ア（力）に当たる。「キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を手掛かりに、戦国の世が天下統一されたこと」を理解できるようにする内容となる。織田・豊臣に関わる事象を関連、総合させて戦国の世の統一に果たした二人の役割を考える。ここでは、当時の世界の動きが分かる地図を活用しながら当時の世界との関わりにも目を向け、我が国の歴史を広い視点から捉えられるようにする。

2 研究との関わり

研究主題「児童が主体的に学習問題の解決に向かう小学校社会科指導の工夫-調べ学習における資料の読み解きと対話を通して-」に迫るために、資料の活用と学習問題の解決に向かえるような学習計画を立てることを重点手立てとして、研究を進めている。そこで、本単元では、単元の初めに学習問題を作り、問題に対する予想を立てる活動を取り入れる。さらに予想を確かめるためにはどんなことを学習すればよいかを考えながら、児童たち自身で学習計画を作る。また、各単位時間の中では、学習計画を基に児童と作った本時のめあてに迫れるような資料を見付けたり調べたりする時間を設け、その後グループや全体で考えたことを基に話し合えるようにする。さらに、単元の終末には学習したことを整理し、まとめることで、織田・豊臣が目指した天下統一は、二人がそれぞれ行った「経済」「外国との関わり」「法やきまり」など国を治める上で重要な施策が軸となって成し遂げられたことに目を向けさせる。

3 単元（題材）の目標及び児童（生徒）の実態

	目標	児童（生徒）の実態
知識及び技能	<p>①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を理解できる。</p> <p>②調べたことを年表や文などにまとめ、戦国の世が天下統一されたことを理解できる。</p>	<ul style="list-style-type: none">社会科への興味関心は高いが、人物とその功績、関連する事物を結び付けたり、歴史的事象がもつ意味を正確に捉えたりすることは難しい。一つの資料から必要な情報を読み取ることができるが、二つ以上の資料からつながりや関わりを見いだしたり、因果関係を表現したりすることは難しい。
思考力、判断力、表現力等	<p>①世の中の様子、人物の働きや文化遺産などに着目して、問い合わせを見いだし、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について考え、適切に表現できる。</p> <p>②キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を関連付けたり総合したりして、戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、適切に表現できる。</p>	<ul style="list-style-type: none">発言が活発であり、自分の言葉で疑問に思ったことや分かったことを表現できる児童が多い。
学びに向かう力、人間性等	①キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとする。	<ul style="list-style-type: none">資料を用いて調べる過程や、単元を通して学んだことをまとめたり、更に気付いたことや考えたことを文章や言葉で発信したりできる児童が多い。

4 評価規準

知識・技能	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を理解している。
-------	---

		②調べたことを年表や文などにまとめ、戦国の世が天下統一されたことを理解している。
思考・判断・表現		①世の中の様子、人物の働きや文化遺産などに着目して、問い合わせを見いだし、キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について考え、適切に表現している。 ②キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を関連付けたり総合したりして、戦国の世の統一に果たした織田信長、豊臣秀吉の役割を考え、適切に表現している。
主体的に学習に取り組む態度		①キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

5 指導及び評価、ICT活用の計画（全6時間：本時第6時）

過程	時間	■ねらい □学習活動 ★ICT活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目＜方法（観点）＞ ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価
つかむ	1	■戦国時代の戦いの様子について、屏風絵などの資料を読み取り、織田信長などの武将が力を發揮するようになったことを理解できるようにする。 □資料「長篠の戦い」「1570年ごろの主な戦国大名」を基に、このころの様子を話し合う（★）。	○			◆必要な情報を読み取り、戦国大名が各地で戦いを続ける戦国の世となり、織田信長が力を發揮するようになったことについて理解している。 <観察・ノート（知①）>
追究する	2	■天下統一に向けた動きについて、年表や資料で見て、気付いたことや疑問などについて話し合い、二人の武将についての学習問題を作り、学習計画を立てられるようにする。	○	○		◆社会の変化や、信長・秀吉の働きに着目して、問い合わせを見いだしている。 <ノート（思①）> ◆学習内容の解決に向けて予想し、学習計画を立て、解決の見通しをもっている。 <ノート（態①）>
		[単元の学習問題] 織田信長・豊臣秀吉は、どのようにして戦国の世を治めていったのだろう。				
		□年表を基に予想し、学習計画を立てる。 □調べ方やまとめ方についても話し合う。（★）				
	3	■戦国の世におけるヨーロッパとの関わりについて調べ、ヨーロッパとの関わりが日本の宗教や戦国大名の戦い方に影響を与えたことを理解できるようにする。 □この時代の日本が外国とどのように関わっていたのかを資料や教科書本文を基に調べる。（★） □戦国大名がヨーロッパと進んで関わろうとした理由について話し合う。	○			◆必要な情報を集め、読み取り、キリスト教の伝来や南蛮貿易など、ヨーロッパとの関わりが日本の宗教や戦国大名の戦い方に影響を与えたことについて理解している。 <観察ノート（知①）>
	4	■勢力拡大の様子や楽市・楽座などについて調べ、織田信長の天下統一に向けた政策について考えられるようにする。 □資料や教科書本文を基に、織田信長が、天下統一に向けてどのようなことを行ったのか調べる。（★） □信長の取組と天下統一とのつながりを話し合う。	○	○		◆織田信長による経済力や軍事力を高める取り組みと、天下統一とのつながりを考えまとめている。 <ノート（思①）> ◆信長の武将の天下統一に向けて果たした役割について主体的に調べようとしている。 <ノート発言（態①）>

	5	<p>■検地や刀狩などについて調べ、豊臣秀吉の天下統一について理解できるようにする。</p> <p>□資料や教科書本文を基に、豊臣秀吉の取組を調べる。 (★)</p> <p>□秀吉が作ったきまりは、世の中にどのような影響を与えたのか話し合う。</p>	○	●	<p>◆必要な情報を集め、読み取り、豊臣秀吉が世の中を支配する仕組みを作つて天下を統一したことについて理解している。</p> <p><観察 ノート (知①) ></p> <p>◆秀吉の武将の天下統一に向けて果たした役割について主体的に調べようとしている。 <ノート 発言 (態①) ></p>
まとめる	6 (本時)	<p>■天下統一を進めた二人の武将の取組について、これまで学習してきた内容を整理して自分の考えを表現する活動を通して、戦国の世が天下統一されたことへの理解を深められるようにする。</p> <p>[本時のめあて] 信長と秀吉がどのように天下統一を進めていったのか、調べてきたことを整理し、話し合おう。</p> <p>□信長と秀吉の取組を整理する。 (★) □二人の武将が行ったことを図に整理し、学習問題についての自分の考えを書く。 □信長と秀吉の取組のうち、天下統一について特に重要だったものはどれかを考え、話し合う。</p>	●	●	<p>◆調べたことをまとめ、キリスト教の伝来などの外国との関わりや二人の武将の天下統一に向けた働きを理解している。</p> <p><ノート (知②) ></p> <p>◆二人の武将の天下統一に向けて果たした役割について考え、表現している。</p> <p><ノート (思②) ></p>

II 第6時の学習

1 ねらい 天下統一を進めた二人の武将の取組について、これまで学習してきた内容を整理して自分の考えを表現する活動を通して、戦国の世が天下統一されたことへの理解を深める。

2 展開

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応【S】 ★ICT活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)
<p>1 前時までの学習内容を振り返り、本時のめあてを確認する。 (10分) ★</p> <p>S : 織田信長は安土城下町で楽市・楽座を行った。自分の領地にお金を集めめたためだ。</p> <p>S : 豊臣秀吉は大阪城を築いた。金の茶室で権力を示すためだ。</p> <p>S : 豊臣秀吉は検地と刀狩を行った。</p> <p><めあて> 信長と秀吉がどのように天下統一を進めていったのか、調べてきたことを整理し、話し合おう。</p>	<p>○児童の発言を、教師が項目ごとにデジタル共有ノートの付箋に記入するよう促す。</p> <p>○児童との対話の中で、信長と秀吉がそれぞれどんな目的で様々な政策を行ったのか確認し、それも付箋に記入するよう促す。</p> <p>○児童による付箋の記入が終わったら、個人のデジタル共有ノートに付箋を送るよう促す。</p> <p>◆調べたことをまとめ、キリスト教の伝来などの外国との関わりや二人の武将の天下統一に向けた働きを理解している。 <ノート (知②) ></p>

<p>2 織田信長と豊臣秀吉の取組のうち、天下統一に向けて特に重要なものはどれかをそれぞれから一つずつ選び、付箋に理由を追記する。</p> <p>(8分) ★</p> <p>S : 信長が南蛮寺を許したことは重要だった。貿易もできるし、仏教勢力も抑えることができたから。</p> <p>S : 秀吉が刀狩をしたことは重要だった。これで百姓は武士に反抗できなくなったから。</p>	<p>○「織田信長」「豊臣秀吉」が行った取組と、天下統一との関連を表現することで、二人の共通点やそれぞれの特徴的な取組を捉えられるようにする。</p> <p>◎選んだ取り組みを示す資料と関連付けて、重要なと思う根拠を説明できるよう考えておくことを伝える。</p>
<p>3 選んだ付箋を班のシンキングツールに送り、グループで互いの考えを交流する。(12分) ★</p> <p>S : 信長がキリスト教を保護したのは南蛮貿易で利益を得るためだったから、経済政策かな。お金をもうけて鉄砲をたくさん作って戦いに勝つことを考えると、これは重要なだ。</p> <p>S : 秀吉が石見銀山を支配したのもお金をもうけるためだったことを考えると、資金を集めることはすごく重要なんだね。</p>	<p>◎各自が選んだ付箋をシンキングツールに配置しながらそれぞれの考えを分類、整理するよう促す。</p> <p>◎資料を提示しながら自分の考えを説明できるよう伝える。</p> <p>◎お互いの意見を尊重しながら「政治」と「経済」に分類し、更に重要なと思う取組をより右に配置するよう話し合いを深めさせる。</p>
<p>4 いくつかのグループに話し合ったことを発表させる。(5分) ★</p>	<p>◎シンキングツールを提示しながら、どのような話し合いで付箋をその位置に配置したのか、どこに注目したのか発表する場を設ける。</p> <p>○信長と秀吉の取組について、共通点や相違点に着目できるようにする。</p>
<p>5 学習問題についての自分の考えをノートにまとめる。(10分) ★</p> <p>S : 織田信長も豊臣秀吉も、天下統一のために資金を集めたり、敵の勢力を抑えたりして、自分の力を強めていった。</p> <p>S : 織田信長は鉄砲を大量生産して兵力を強め、楽市楽座やキリスト教を保護することで資金を集めた。こうすることで、天下統一に向けて力を付けた。</p>	<p>○各取り組みの目的や、天下統一とのつながりについて記述できているかを確かめさせる。</p> <p>◆二人の武将の天下統一に向けて果たした役割について考え、表現している。</p> <p style="text-align: right;"><ノート(思②)></p>

3 板書計画

